



# 花宴

筆：酒井 富男様（あおい入居者）

## 日々是反省 (ひびこれ はんせい)

居宅介護支援事業所 純  
介護支援専門員 捧 元一



早いもので当事業所にて勤務させていただき8年、在宅のケアマネジャーとしても15年が経ちました。元々は縁あって平成10年、当時の国の施策で大量に旧ホームヘルパー2級を養成していた時に、福祉の道へ入り、介護保険の始まる前の「介護に困窮している」在宅の利用者さんへの支援を続けていく中で、自分のスキルを高めていく必要性を痛感し、福祉の資格や介護支援専門員の資格を取得してきました。ただ資格というものは大概がそうですが、取得するだけでは物にはならず、日々実務に携わりながら、絶えず研鑽し、再度実務に返していく作業が必要です。特に在宅の利用者様、家族様は日々の生活を送っていくことに対する想いが確固としているので、その想いに寄り添いつつ、健康で文化的な生活にも軌道を近づけていく必要があるので、ある意味私自身の思考の柔軟性が試されているな、と感じています。時には失敗もあり、関係者の方々にご迷惑をおかけしたこともあります。それらを糧に「日々是反省」をモットーに務めてまいる所存ですのでよろしくお願ひ致します。尚、在宅の医療・介護のことでお困りごとがございましたらお気軽にご相談くださいませ。

### 発行責任者

社会福祉法人積慶園  
特別養護老人ホーム山科積慶園  
施設長 石黒 善治  
京都市山科区北花山大林町34番地  
電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第36号 発行日：令和3年 8月 1日

## 小さな変化に 気付く事



特別養護老人ホーム山科積慶園  
ユニットリーダー 大屋 恭子

12年前の開設時からお世話になっております。開設時には新しく入居される皆様を迎えるために地下のボランティアルームで勉強会をしていましたが、ついこの前のように思います。この12年の間、なでしこ・あおいを経て、今はふじユニットに所属しています。

山科積慶園ではコロナワクチンを希望される入居者様・職員は無事接種することができました。入居者様も自由に家族様と面会や外出ができずストレスがたまっていましたが、徐々に解除されることを楽しみにしています。

私が仕事をする上で、大切にしていることは、日々同じことの繰り返しでマンネリ化しないようする事と、物事を色々な角度から考えられる柔軟な頭を持つことです。私達介護士は、入居者様の一番近くにいます。入居者様の小さな変化に気付く観察力が必要です。変化に気付く事ができても、なぜそうさせるのかを思い込みではなく、色々な角度から考えられなければなりません。これからも若い職員に負けないように視野を広げて頑張りたいと思います。入居者様が心地よく生活できますように、そして私自身、介護士をやってよかったと思えるように誇りを持って仕事に取り組んでいきます。よろしくお願ひ致します。

## 《うちわ作り》



### …2階…

6月某日、2階両ユニットでうちわ作りをしました。あらかじめ、お花紙を朝顔の花と葉の形に切っておき、それをうちわに貼っていました。花の色は6色あり、それぞれお好きな色を選んでいただいたのですが「私はこの色がええな」「いや、こっちやろ」「もう一個ここにも貼ろか」と皆様楽しそうに、話しておられました。出来上がったうちわを見て「涼しそうやな」と満足されており、暑い夏に向けた素敵なおうちわの花が咲きました。(真野)



### …5階…

コロナウイルスの影響で外出も難しく、少しでも季節を感じていただこうと、7月7日にユニットの皆様と共に夏まつりに向けてのうちわ作りをしました。皆様、初めは「難しいわ」「どうしたら良いんやろ?」と悩んでおられましたが、うちわや飾り付けの素材を触っておられるうちに「こんなどうやろ?」「こっちがきれいやわあ」と近くの方と談笑しながら、楽しそうに作っておられました。

出来上がったうちわはそれぞれオリジナリティ溢れる物で、皆様お互いに見せ合って笑いあっておられました。(杉村)



## 《おやつレクリエーション》

3階はぎユニット、なでしこユニット合同でおやつレクリエーションを開催しました。はぎユニットはクレープ作り、なでしこユニットはたこ焼き作りをしました。コロナ禍で入居者様と一緒に作る事は出来ませんでしたが、はぎユニットではクレープの最後のトッピングは入居者様に手伝って頂きました。ご自身でトッピングされとても満足され素敵なお笑顔を見せて下さいました。



なでしこユニットでは、たこ焼きの匂いに入居者様はとてもわくわくされ、「美味しい」と皆様喜んで召し上がっていました。



入居者様の笑顔がたくさん見られて、大満足のおやつレクリエーションとなりました。(小島幸)



## 《七夕》

七夕飾りを作成し、入居者様一人一人にお願い事を記入した短冊を笹に飾っていただきました。ある入居者様が「家族と



いっぱい会いたいわ」とおっしゃっていました。

現在、面会も制限されている中で、もっと自由に家族様とゆっくり会っていただける日が早く戻ってくるよう祈るばかりです。普段通りの生活が出来るように、入居者様の笑顔がもっと見られるように、私達も様々な企画を考えていきます。(阪井)



## 《普通救命講習》

今回、普通救命講習に参加させて頂いて思ったことは、AEDを使用する際には、やはり1人では難しい事を実感しました。普段の仕事では利用者様との1対1の対応になりますが、こいつはAEDを使用する際は他の職員と協力して進めていくことが大切だと思いました。私自身、実際にAEDを



使用したことがなく、心臓マッサージもしたことがありません。今回講習に参加させて頂いたので、今後万が一の時には落ち着いて、声を掛け合って学んだことをスムーズに活用出来るようにしたいと思います。(倉田)



## ~~~ 医務室だより ~~~

5月24日より、新型コロナワクチンを、順次接種しました。入居者様の中には、1回目の接種後に、ややお元気がないのでは?といった症例が2件ほどありましたが、2回目の接種では、皆様特にお変わりありませんでした。

職員の方では、1回目は、主に接種部の腫れや、痛みといった症状が多く、2回目は、1回目の症状にプラスして、発熱者が多発し、それに伴った症状や、接種部の痛み等の報告がありました。しかし、数日のうちに症状は改善され、重篤な状況に陥ることなく、皆元気に仕事に励んでいます。

今後、面会や外出の機会など増やせるよう、感染状況を確認しながら、調整していく予定です。



ワクチン接種については、副作用の事もあり、躊躇してしまいがちですが、重症者が減っている事実もあります。より良い方法を検討していただき、このコロナ禍を乗り切りましょう。(小島美)



入居者様接種の様子

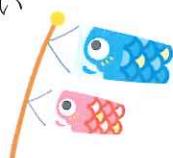


職員接種の様子

# デイサービスセンター ぬくもり 4ヶ月の行事

## 4月：鯉のぼり製作

八角形に切った台紙の上に印刷した鯉のぼり、金太郎さんと折り紙で折った兜、あやめの花、風車を貼って作りました。自分で出来るよう工程を工夫したので、ご利用者様に上手に貼り付けていただく事ができ、可愛い鯉のぼりの作品が出来ました。



## 6月：あじさいの花製作

6月はお花紙で沢山のあじさいを作りました。紙を畳んでそのあと一枚一枚丁寧に広げていくのがなかなか大変でしたが、みなさん根気良く広げて下さいました。広げた花びらにビーズを飾り付け可愛いあじさいが沢山でき、デイルームの壁があじさい園になりました。



## 7月：七夕飾り

7月は七夕飾りを作りました。今年は紙で笹を作つて七夕飾りや短冊を飾つていただきました。ご利用者様に願い事について聞くと、「願い事はないわ」とおっしゃる方が多く、書いて頂くのに少し苦労しました。多くの利用者様は「元気にデイに通えますように」というお願ひ事になりました。



## 7月：出前レクリエーション

外出がなかなか出来ないので、時々お弁当を注文したり、出前をお願いしたりで、少しでも外出した雰囲気・気分を楽しんで頂こうとしています。

7月に実施した出前レクでは、エビフライ弁当やミックス弁当、カレー等ご利用者様はご自分で好きなメニューを選び、召し上がっていただきました。

普段とは違う昼食にご利用者様はおなかも心も大満足のご様子でした。



## 《デイの感染対策》

現在デイでは、ご利用者様同士、出来るだけ接觸をしないよう、レクリエーションの内容を考え、実施しています。また、レクの内容によってはポリ手袋をはめてレクを楽しんで頂いたり、工夫をしています。

ご利用者様同士の飛沫感染を防ぐ為、当初、パーテーションを用意するのに 100 円ショップで購入した材料を利用して手作りで使用していましたが、最近、しっかりとしたアクリル板のパーテーションを購入していただきました。視界が妨げられず圧迫感もなくスッキリしました。

手洗いや消毒等の基本的な対策も徹底し、感染予防をしていきます。



## \*・\*・\*・編集後記・\*・\*・\*

毎年恒例となった夏まつりを今年も予定しています。昨年と同様、ユニット内での開催となり、入居者様と家族様が一緒に楽しむということは今年も出来ませんが、入居者様が楽しんでいただけるよう、現在準備を進めています。次号ではその様子をお伝えできると思いますので、楽しみにしてください。(林)